

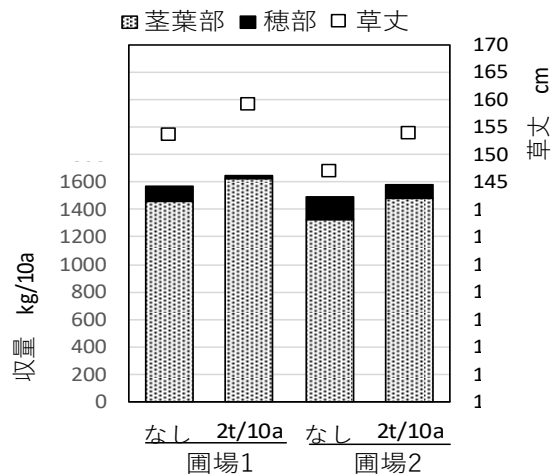
高糖分高消化性飼料用イネ「つきすずか」 の栽培・収穫・飼料調製のポイント

飼料用イネ「つきすずか」は、牛が消化できない粗の割合が少なく、高糖分高消化性の牛のえさ用新品種です。

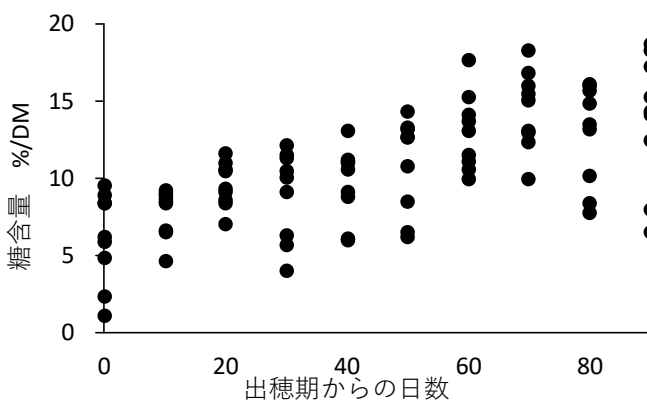
本研究では、基肥は慣行よりも減らして追肥も行わず、移植は6月下旬～7月初旬の晩植とし、極力株間をあけることで本県の収穫体系で課題となる草丈を抑えられ、連作によるカリウム欠乏は完熟牛ふん堆肥の施用で抑制できることなどを明らかにしました。また、収穫は、出穂30日後から60日後程度まで可能であり、調製時に専用の乳酸菌製剤を添加することで品質が向上することもわかりました。これらをまとめた生産・利用の手引きを作成しています。



「つきすずか」の穂
穂が小さく穂重割合も低い



連作ほ場における堆肥施用効果



「つきすずか」糖含量の推移



微細断収穫機による収穫作業

本成果は、農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発」(自給飼料分科会)により行われたものです。